

# 木材利用促進本部

## 日本マクドナルドの木材利用

2026年3月27日

日本マクドナルド株式会社

店舗開発本部 青木 卓也

# マクドナルドについて

---



**世界中に  
100以上の国と地域  
約41,000店舗で展開**



**日本国内で  
47都道府県で営業  
3,025店舗（2025年12月末）  
年間約14億人のお客さまがご来店  
約22万人のクルー**

# マクドナルドの木材利用について（実績）

2018年までのマクドナルドドライブスルー店舗はほぼ全てが鉄骨造

2023年2月：『建築物木材利用促進協定』締結

協定締結からの3ヶ年で、計386店舗、5,566m<sup>3</sup>の国産木材を使用

過去3年で127店舗の木造店舗

- ・2023年：37店舗、1,084m<sup>3</sup>
- ・2024年：41店舗、1,669m<sup>3</sup>
- ・2025年：49店舗、2,750m<sup>3</sup>



宮崎三股町店（2025年11月オープン）

## 【国産木材活用に向けた取り組み】

- ・地域材を用いたドライブスルー向け木造店舗のモデル化・キット化を完了。地元の工務店でも取り組みやすいよう一般流通材（スギ・ヒノキ）を使用した在来軸組工法を木造店舗の標準モデルに採用。
- ・梁スパンや梁せいを抑えて国産材を活用拡大（集成材は使用しない）※柱の露出を許容するデザイン
- ・アルミ製ルーバーを国産木材ルーバーに転換
- ・仕様書で「国産材使用率75%以上」と設定。国産材比率88%といった店舗の事例も出てきている。

# マクドナルドの木材利用について（今後の取り組み）

## 【国産木材の更なる活用拡大に向けた取り組み】

年間150店舗程度を建設予定であり、このうちの6～7割を占めるドライブスルー店舗（延床面積300～400m<sup>2</sup>）において、木造化を推進。

- ・建方工事日数の更なる短縮
- ・より現場に近いエリアからの木材調達
- ・国産材使用率100%の木造店舗の建設
- ・寒冷地仕様の木造躯体の開発
- ・助成金制度の更なる活用

## 【国・自治体との更なる連携】

- ・2023年2月：農林水産省と木材利用促進協定締結
- ・2024年3月：岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結
- ・2024年12月：愛媛県より木材利用補助金を受領
- ・2025年9月：茨城県産木材の利用促進に向けた建築物木材利用促進協定



五条桂店



六本木ヒルズ店：内装木質化



宮崎三股町店





**Thank you**